

カレッジだより



20期生337人が巣立つ

第20期生の卒業式が3月22日、カレッジホールで行われ337人が巣立ちました。服部祥子学長から各コース・専攻の代表者に卒業証書が授与されたあと、来賓の福本富夫・神戸市保健福祉局高齢福祉部部长と在校生代表・倉本敏明（園芸21）さんの祝辞があり、卒業生代表・池田哲也（園芸）さんが謝辞を述べました。グループわからは小畑理事長が出席しました。このあと、参加者全員で校歌を歌って終了。



卒業証書は、各教室で講師から手渡されました。コース別の卒業生は健福61人、国際81人、生環49人、美工34人、音文34人、園芸39人、食文39人でした。卒業生からは、ジェットタオル4台が贈呈されました。

23期生の入学式

第23期生419人の入学式が、4月7日午前10時30分からカレッジホールで行われました。



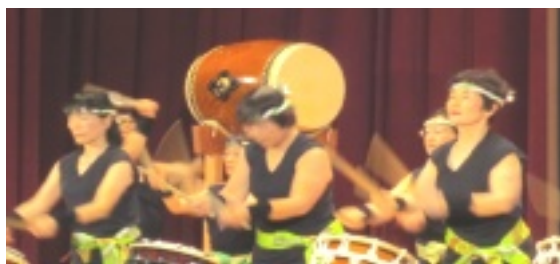
服部祥子学長は、「スクールのモットーは、再び学んで他のためにですが、若い人の学びとは違って、シニア世代の学びは、主体的に自分らしさを探求することであり、ボランティア活動を通じて“共生”社会を目指し、より豊かな社会を実現する事ではないでしょうか！」と激励しました。

コース別入学者は健福82、国際98、生環87、美工36、音文40、園芸37、食文39人。新入生代表の市恵子（国際）さんは「シルバーカレッジで新しい可能性を見出し『再び学んで他のために』を実践していきます」と決意を述べました。悪天候の中を、カレッジには9時30分ごろから期待に胸を膨らませて、新入生が続々と登校。ふれあいホールでは、各クラブが紹介パネルの前で、積極的にクラブの入部勧誘をしていました。グループ わもパネル展示を行い、災害救済募金を募ると共に、駐車場整理や記念写真の撮影を担当しました。

グループ学習の合同発表会

27年度グループ学習合同発表会が3月2日、カレッジホールで開催され、卒業生や在学生を含めて500人を超える人達が熱心に聞き入りました。

発表は午前10時から、14グループが映像などを使って順次発表しました。トップバッターは、和太鼓グループ合奏（音文）でした。



ふれあいホールでは美工の絵画・陶芸作品が展示されました。代表発表テーマは次の通りです。

【音文】①和太鼓グループ②パーカッショングループ③合唱（全員）【園芸】①鳴門金時・安納芋・紅はるかの栽培研究②コンパニオンプランツ サトイモの有無によるショウガの栽培【食文】①淡路島を食べつくそう②玉ねぎを使ったバランスの取れた料理【国際】①台湾との交流 つなごう絆②ミャンマーにおける草の根の農業支援【生環】①シカと人間の幸せな共存②日本の原風景である『かかし』の昔と今【健福】①認知を知り、目指そう活き活きライフ②地域の輪、学んで介護を生き生きと〜つどいの場の果たすべき役割について③最後の居場所（お墓）と終活どのように準備しますか

●カレッジ事務局人事 3月31日付【退任】志方洋一（総務リーダー）・佐々木信二（教務リーダー）
・曾谷恵子（国際交流・協力コース） 4月1日付【新任】窪田和人（教務リーダー）・松嶋剛史（総務リーダー）・権田富士子（国際交流・協力コース）

（広報・藤田健一）